

<基本構想図>

<目指す児童・生徒像>

- 夢や憧れを持って日々努力する子(夢)
- 確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ子(創造)
- 学校や郷土宮代に誇りをもち、より良い生活を追究する心豊かな子ども(絆)

<家庭・地域との連携>

- 宮代町小・中一貫教育推進委員会での意見交換
- 小中一貫教育の取組を地域に発信(HP・学校だより・教育だより「みやしろ」等)
- 研究発表会案内等の配布(保護者・地域住民の参加)

<研究課題>

- ①97年の発達状況に応じた教育区分
- ②小学校における教科担任制
- ③教職員の相互交流
- ④学校・家庭・地域が協力して地域ぐるみでの取組と連携強化



宮代町小・中一貫教育

夢・創造・絆フーズ

憧れを未来につなぎ生きる力を育む宮代教育の創造一夢・創造・絆の実現に向けて、小中9カ年を一貫した教育を行い未来を担う子どもの育成に取り組めます。

小中学校9カ年を見通した「学び」と「育ち」の連続性を重視した教育

学力の向上

豊かな心の育成

学習意欲の向上

中1ギャップの解消

円滑な接続

<町の取組>

- 島村盛助を顕彰する「宮代町英語活動発表会」(各中学校区)
- 宮代町キッズエコサミットの開催(子ども環境会議)
- 児童・生徒間交流(町内音楽会・人権作文発表会 等)
- 教職員間交流(研究発表・授業研究会への相互参加等)
- 学力向上等検討委員会の開催



<基本方針>

- ①各中学校区の特徴を生かした取組の推進
- ②小中学校をつなぎ、97年にわたる連続性・系統性を生かした学習指導・生徒指導の実践
- ③97年を見通した教育課程の編成



<各中学校区の取組>

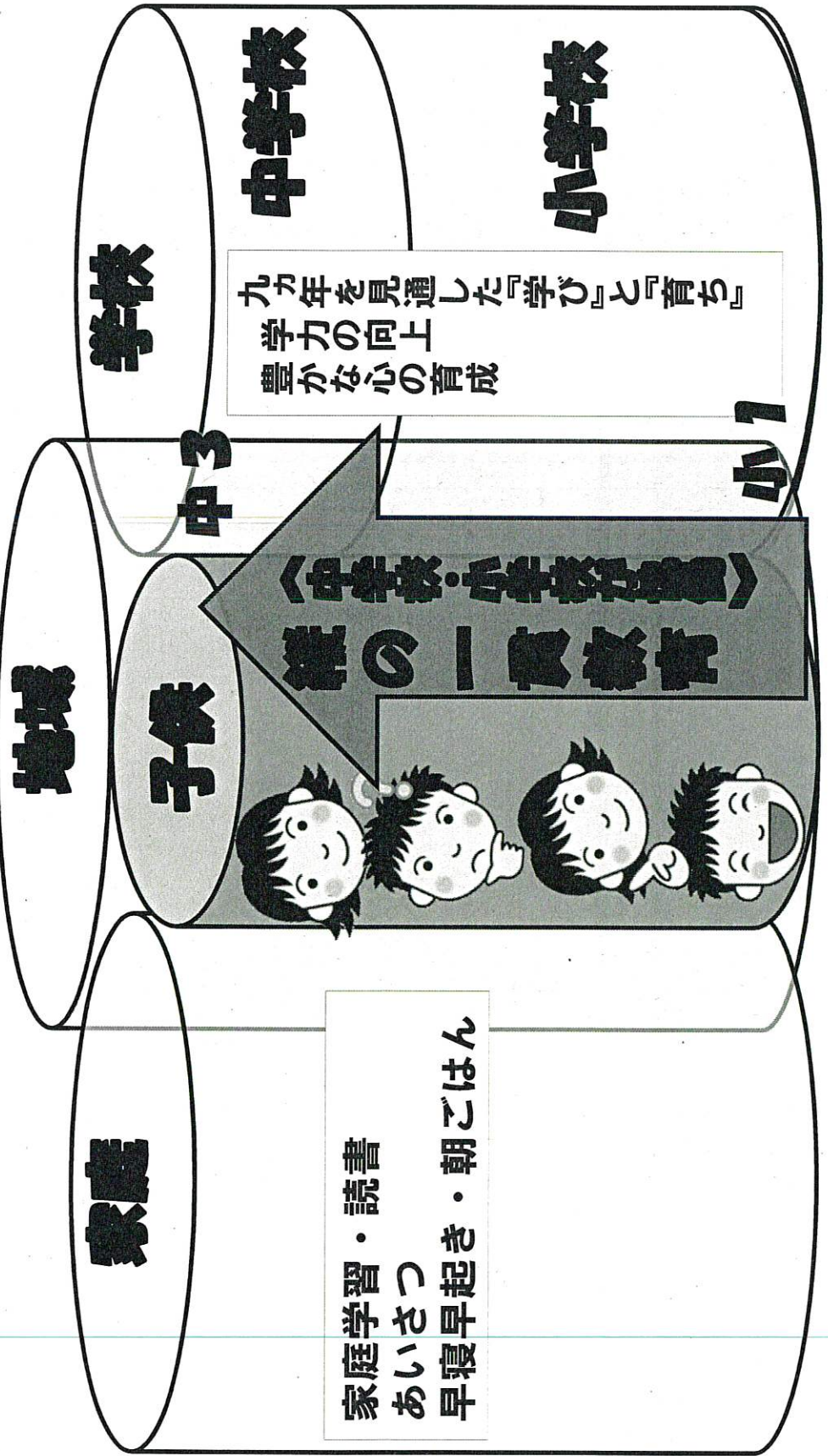
- 須賀中学校区(須賀小・須賀中)
 - 「確かな学力と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進」(Sプラン)～生きる力をばぐむ小中一貫教育～
 - ・学習指導、教科指導の一貫性を図る(基礎学力の定着と向上)
 - ・生徒指導の一貫性を図る(あいさつ等の基本的な生活習慣の確立)
 - ・児童生徒の交流を通して、豊かな心、社会性を育成する(中1ギャップの解消)
 - ・教職員の交流を通して、意識改革を図る(目指す子ども像の実現に向けて)
- 百間中学校区(東小・荻原小・百間中)
 - 「ゆずり葉プラン」～笑顔をつなぐ教育の推進～
 - ・小中学校9年間の育ち(生活面)の連続性を重視(中1ギャップ解消)
 - ・小中学校9年間の学び(学習面)の連続性を重視(学び・学習の連続性)
 - ・小中連携した英語教育の推進(英語科)
 - ・豊かな心の育成(児童生徒交流)
- 前原中学校区(百間小・前原中)
 - 「確かな学力と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進」(Mプラン)～生きる力を育成する豊かな連携～
 - ・中学校進学に対する不安感を軽減、夢や憧れをもって努力する子を育てる
 - ・確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ子を育てる
 - ・自分自身、学校、地域に誇りをもち、よりよい生活を追究する心豊かな子を育てる



小中連携の取組イメージ

横の一貫教育〈学校・家庭・地域が協働〉

大人が手本を見せて 温かく見守って できたら褒めてあげる



令和6年度 第1回宮代町小・中一貫教育推進委員会資料

宮代町立須賀小学校&須賀中学校

1 はじめに

須賀小・中学校では、「生きる力をはぐくむ小中一貫教育」を推進するために、「9年間の目指す子ども像」と「小・中をつなぐ視点4点」を小・中で設定し、指導法の研究や学習規律の共有化、児童生徒の情報交換、交流活動を通して、小・中の連携を図りながら、児童生徒一人一人のよりよい成長を目指し、小中連携した行事など特色ある取組を進めてきた。

例年、夏期休業中に合同研修会などを通して教員個々の指導力や学校力を一層高めるとともに、小・中で指導法の共有化を図ってきた。

今年度も9年間を見通した学習指導・学習規律、目指す児童・生徒像を設定し、「力いっぱい⇒全力」で何事にも取り組む児童生徒を育成するために、小・中一体となって取り組んで行く。積極的な児童生徒の交流活動を充実させるとともに、児童生徒のきめ細やかな情報交換を通して、中一ギャップの解消、問題行動や不登校児童生徒の減少に努めながら、「確かな学力」と「豊かな心」を育成する小中一貫教育を推進する。

2 小中一貫教育推進のねらいと方策

◆「9年間の目指す子ども像」

○自ら考え、主体的に解決する子供

○自他を思いやり、よりよい人間関係をつくる子供

○何事にも力いっぱい、全力で取り組む子供

◆「つなぐ」をキーワードに、ねらいを「指導をつなぐ、児童生徒の心をつなぐ、教職員の意識をつなぐ」とし、取組の視点を以下の4点とする。

(1) 学習指導、教科指導の一貫性を図る（基礎学力の定着と向上）

(2) 生徒指導の一貫性を図る（あいさつ等の基本的な生活習慣の確立）

(3) 児童生徒の交流活動等を通して、豊かな心、社会性を育成する

(4) 教職員の合同研修会等、交流を積極的に進め、9か年を通して目指す児童・生徒を育成するという意識改革を継続する。

◆令和5年度の重点目標

(1) 9か年を見通した「力いっぱい！」⇒「全力」意識を、より高める。

(2) 学習指導・生徒指導の共通理解と指導の一貫性を図る。

(3) ICT機器を効果的に活用しながら、児童生徒の各交流活動を見直し、効果的な取組を推進する。

3 須賀小・中一貫教育推進に関わる実践『Sプラン』

「指導をつなぐ」視点 「力いっぱい」から「全力」へ

(1) 「須賀小・中学校 Sプラン」（令和2年2学期から実施）

→「9年間で目指す児童像」の明確化

→須賀小・中学校 「学習ガイド」の作成と活用

「あいさつ」「聞き方」「話し方」などの授業の「家庭学習」等などの観点から、9か年を見通した共通項目・共通指導の策定をおこなう。

(2) 校長交換講話（小学校長が中学校、中学校長が小学校の全校集会で発達段階に即した講話を実施）、キャリア教育の観点から「夢・目標をもつ」等

(3) 英語・外国語合同発表会の実施

(4) 新入生入学説明会の実施（須賀中学校入学予定児童及び保護者対象）

「児童生徒の心をつなぐ」視点

○中学校の合唱を聴く会（中学3年生が全校児童の前で合唱を披露する）

「教職員の意識をつなぐ」視点

(1) 教職員夏季合同研修会（教科指導、生徒指導等についての協議と情報を共有）

(2) 校内授業研究の相互参観（各学校の支援担当訪問を参観する）

(3) 小学校6学年への出前授業（中学校教諭 出前講座）

(4) 小中意見交換会（旧6年担任）

4 昨年度の成果と課題

これまで4つの視点に重点をおき、小中一貫教育の推進に取り組んできた。「指導をつなぐ」では、学習規律や日常生活における態度・姿勢の育成について、指標をもとに共通理解を図り指導にあたることで実践的に効果を上げることができた。「児童生徒の心をつなぐ」においては、特に、毎朝のあいさつ指導を小・中同時に実施し、あいさつをすることの意味を共有し合うことで、明るく元気なあいさつが地域にこだまするようになった。この継続的な取組が、子どもたちの自己肯定感の高まりにつながってきている。また、「③教職員の意識をつなぐ」取組は、多岐にわたり実践でき、教職員の意識改革が今後の取組の工夫改善に大いに期待できると考える。

令和6年度は、これまでの取組を見直し、より一層内容の精選を図るとともに、「持続可能な取組の中より一層効果が図れること」等を早期に計画し、推進していきたい。

5 今年度の主な年間計画

月	連 携 方 法	内 容
4/10	小・中一貫教育推進委員会①	・本年度の取組・計画の確認を行う
5/20	小中連絡会	・旧小6担任が中学校授業参観後、情報交換を行う。
5/27	小・中校長交換講話(小→中)	・小学校校長が中学生に講話を行う。
6/3	小・中校長交換講話(中→小)	・中学校校長が小学生に講話を行う。
6/17～	小中相互授業参観ウィーク	・視点をもって授業参観後、合同研修会で協議を行う
6/24	須賀小支援担当訪問	・中学校教諭等の小学校授業の自由参観
7/3	小・中一貫教育推進委員会②	・取組の進捗状況の確認、夏季合同研修会の内容の検討を行う
7/25	夏季小中合同研修会	・小中相互授業参観ウィークの協議 ・9年間の学習指導と教育課程の検討
2学期	小・中合同避難訓練 一斉下校	・小・中学校の児童生徒が安全確保に努めながら、一緒に下校する。
10/17	小・中合同火災対応避難訓練	・小・中学校の児童生徒が安全確保に努める。
10/21	合唱を披露する会	・中学3年生が児童に合唱を披露する
12/2	須賀中支援担当訪問	・小学校教諭等の小学校授業の自由参観
12/11	小・中一貫教育推進委員会③	・合同研修会の反省会及び2学期の取組の確認等を行う
2/3	新入生入学説明会	・教職員、PTA、生徒会からの説明 ・部活動体験
3/22	小・中一貫教育推進委員会④	・今年度の反省及び次年度の取組の検討を行う
3/10	中学校教諭 出前講座	・小学校高学年への出前授業

6 終わりに

児童生徒の生きる力をはぐくみ、目指す子ども像の実現を目指して、小・中の教職員が同じベクトルで日常の教育活動に努めることが大切である。さらに、小・中の教職員が、相互授業参観を通して、教科指導や学力向上に係る指導法等を共に学ぶことで、9ヶ年の子供たちの成長を見据えた教育課程を検討していくことも重要である。

今年度も、小・中の連携をより深めながら、「全力」「力いっぱい!」を合い言葉に、何事にも前向きに一生懸命に取り組む児童生徒の育成を目指し、新たな取組を模索しながら教育活動の充実に努めたい。

確かな学力と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進
『須賀小・中学校 Sプラン』

～生きる力をはぐくむ小中一貫教育～

地域と共に

Suka かいっぱい! → 全力 Plan

今年度の主な取組

【学力の向上】

- ・須賀小・中学校「学習ガイド」の活用
- ・校内授業研究会の相互参観
- ・英語・外国語活動合同発表会の実施
- ・教職員合同研修会での協議（合同教科部会）
- ・小中連絡会の実施

他

【豊かな心の育成】

- ・校長交換講話
- ・中学生職場体験学習
- ・小中合同避難訓練
- ・合同親子除草
- ・部活動体験
- ・中学生の合唱を聴く会
- ・教職員合同研修会での協議（情報共有）
- ・めざす児童生徒の学習や生活の姿を掲示

他



【9年間で目指す子供像】

- ・自ら考え主体的に解決する子供
- ・自他を思いやり、よりよい人間関係をつくる子供
- ・何事にも力いっぱい、全力で取り組む子供

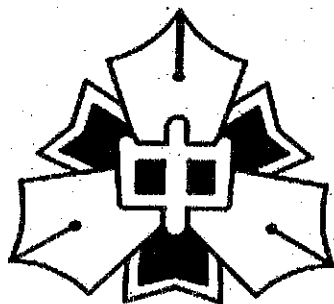


須賀小・中学校 学習ガイド

内容	項目	小学校低学年 第1・2学年	小学校中学年 第3・4学年	小学校高学年 第5・6学年	中学校 第1・2・3学年
準備	家庭	・いえの人といっしょにじかんわりをみて、がくしゅうのよういをする。 ・しゅくだいやりしゅつぶつをきめられた日までにいしゅつする。	・自分で時間わりをかくにんし、学習用具を準備する。 ・宿題やりしゅつぶつを決められた日にいしゅつする。		・前日に「やりとり帳」を確認し、明日の時間割や学習用具を準備する。 ・宿題や提出物を整える。
	授業前	・つぎのじかんのじゅんびをして、休みじかんにする。		・次の授業の準備をしてから、休み時間にする。 ・移動教室の場合は、その次の時間の準備を整え、移動を開始する。	
	着席	・じゅぎょうのはじまるじかんまでに、ちゃくせきする。		・始業チャイムの前に、着席して待つ。 ・移動教室の場合は、授業場所に移動を完了した状態で待機する。	
挨拶	授業前後	・しせいをただして「おねがいします」「ありがとうございました」などのあいさつをげんきよくする。	・しせいを正して「お願いします」「ありがとうございました」などのあいさつをはっきりとする。	・姿勢を正して「お願いします」「ありがとうございました」等、はっきりと挨拶をする	
聞き方	人の話を聞く	・あしはペッタン、おなかとせなかはグーひとつ。	・正しいしせい（せすじをのぼす）で聞く。		・話を聴くときは、目と耳で聞く。
話し方	挙手	・はなす人のはなしがおわったら、ひじをのばしてしっかり手をあげる。 ・こえをださずに手をあげる。	・ひじを伸ばしてしっかりと手をあげる。 ・指名されたら、「はい」と返事をして立つ。		
	発表	・クラスみんなにきこえるこえで、おわりまでしっかりとほっぴょうする。 ・「～です」「～ます」をつけて、ほっぴょうする。	・クラス全員に聞こえる声で終わりまでしっかりと発表する。 ・伝わりやすい内容で「～です」「～ます」まではっきりと発表する。		・「～です」「～ます」という語尾まではっきりと話す。 ・「Oさんの意見とVという点が同じで、◇だと思いました」「Oさんの意見に付け加えて…」等、級友の意見も参考しながら述べられる。
書き方	ノート	・せすじをのぼしてただしくすわり、マスのなかにていねいなもじで、おおきく、つよくかく。	・しせいを正してていねいな文字で書き、大事なところには赤えんぴつや色ペンでしるしをつける。		・板書に書かれたことや先生の指示事項は必ず記入する。 ・自分の疑問点や先生の説明や級友の意見などを書き入れる。
家庭学習	宿題	・わすれずにおこなう。	・わすれず、かく実に行う。		・提出日までに必ず提出する。
	自主学習	・じかんのめやすとして、1ねんせいは20ぷん、2ねんせいは30ぷん ・まなんだことをふくしゅうしてみる。	・時間の目安として、10分×学年+10分 ・復習を習かんにする。		・宿題は、提出期日を守る。 ・できるだけ自分で取り組み、分からないところは先生や級友に助言を受けながら、完成させる。

令和6年度
宮代町立百間中学校区小中一貫教育計画

ゆずり葉フランチ



百間中学校



笠原小学校



東小学校

＜百間中学校区9年間で目指す児童像＞

○自ら考え、主体的に学ぶ子

○自他を思いやる子

○心身ともたくましい子

つなぐ

「指導」「豊かな心」「子供」「生徒指導」「教員」

令和6年6月13日(木)

1 ねらい

- (1) 小中学校9年間の育ち（生活面）の連続性を重視することによりいわゆる「中1ギャップ」の解消を図る。【中1ギャップ解消】
- (2) 小中学校9年間の学び（学習面）の連続性を重視することにより児童生徒の学習意欲の向上を図る。【学びの連続性】【学習の連続性】
- (3) 「あいさつ」「話の聞き方」「相手を思いやる言動」を重視して、小・中で積極的な指導を行うことにより、自己肯定感を高め、「豊かな心」の育成を図る。【豊かな心の育成】
- (4) 小中連携あいさつ運動や英語発表会・陸上練習等の児童・生徒の交流を活発にすることにより、心の育成を図る。【児童・生徒交流】

2 重点

- (1) 小中合同研修会の実施により、小中お互いの職員の交流を活発にするとともに、教科における緩やかな連携を深める。
- (2) 小学校と中学校における学習内容の関連を年間指導計画に明記し、それに基づく授業実践を推進する。
- (3) 小中で連携して英語科の授業実践を進める。
- (4) 小中連携挨拶運動等児童生徒交流の充実を図る。
- (5) 百間中学校区での生活面及び学びについての共通理解と着実な実践を図る。

3 活動計画（※ねらいについては1で示したねらいとの関連で記載）

- ・年度当初に、百間中学校小中一貫教育の方向性について確認
- ・各学校の教育プランに百間中学校区小中一貫・ゆずり葉プランを掲載
- ・各学校で9年間の目指す子供像等について、教職員の共通理解を図る。

No.	月 日	実施内容	場所・対象等	ねらい
1	5月16日	第1回百間中学校区小中一貫推進委員会（校長）	場所：電話・校長会 等	今年度の取組と見直し
2	5月中旬	百間中学校陸上部による陸上指導	場所：東小、笠原小 対象：小学校6年生、陸上部	(4)児童生徒交流

3	5月16日	百間中学校区小中連絡会 (1年生の授業公開、旧 6年生の担任が見学) 	場所：百間中学校 	(1)中1ギ ャップ解消
4	6月(予 定)	百間中2年生の職場体験 学習(小学校での体験学 習)	場所：東小、笠原小 対象：百間中2年生	(2)学び (4)児童生 徒交流
5	6月中旬・ 7月初旬	笠原小・東小での小中連 携挨拶運動 	場所：東小、笠原小 対象：百間中学生役員 	(4)児童生 徒交流 憧れ ・自尊感情
6	6月25日	道徳科授業参観	場所：百間中学校 対象：教職員	(3)豊かな 心の育成
7	7月後半	百間中学校サマースク ールに東小、笠原小の元6 年生担任がゲストティー チャーとして指導 	場所：百間中学校 対象：東小・笠原小の元 6年生担任 	(2)学習面 の連続性
8	7月 中止	小学校のサマースクール に百間中学校生がスチュ デントティーチャーとし て参加 ※今年度の実施は検討中	場所：東小、笠原小 対象：希望する百間中学 校生	(4)児童生 徒交流
9	7月後半	百間中学校区3校合同研 修会(各教科領域部会の 実施…小中の系統性や課 題及び解決策についての 話し合い) 	場所：各学校 対象：3校の全職員 	(2)学びの 連続性

10	夏季休業中 8月	百間中学校吹奏楽部による金管楽器の指導	対象：東小・笠原小 (6年生)	(4)児童生徒交流
11	随時	笠原小、東小研究授業への参観	場所：東小、笠原小 対象：百間中職員	(2)学びの連続性
12	10月中旬	島村盛助を顕彰する英語発表会（百間中学区英語科発表会） 	場所：各小中学校(オンライン) 対象：東小、笠原小の児童、百間中学校の2学年の生徒 	(2) 学びの連続性
13	12月初旬	東小、笠原小学校での小中連携挨拶運動 	場所：東小、笠原小 対象：百間中学生役員 	(4)児童生徒交流
14	12月～1月 ＜検討中＞	3校合同保健委員会	場所：東小学校 対象：3校保健委員会メンバー	(1)中1ギャップ解消
15	2月 日 (笠原小) 2月 日 (東小)	東小、笠原小学校での小中連携挨拶運動	場所：東小、笠原小 対象：百間中学生役員	(4)児童生徒交流
16	2月初旬 (東小) 2月中旬 (笠原小)	出前授業 中学校の教員が小学校を訪問し、6年生に出前授業を実施	場所：東小、笠原小 対象：6年生	(1)中1ギャップ解消 (2)学びの連続性
   				

17	3月中旬	百間中学校区小中連絡会	場所：東小、笠原小 対象：百間中3年職員と 小学校6年職員	(1)中1ギ ャップ解消
18	3月中旬 ＜検討中＞	百間中学校吹奏楽部によ る金管バンドの指導	場所：百間中学校 対象：吹奏楽部員、金管 バンドクラブ	(4)児童生 徒交流

4 今年の重点

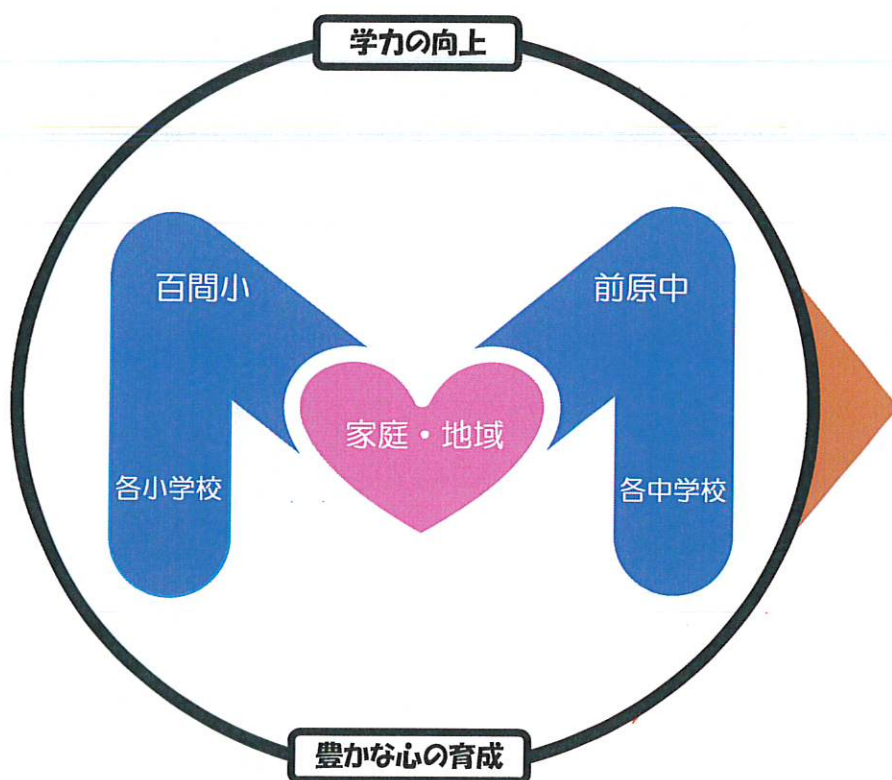
- 「9年間で目指す子供像(ゆずり葉プラン)」を各校の教育プラン(グランドデザイン等)に示し、豊かな心の育成を新たに重点に位置付け、発達段階に応じた指導の充実を図っていく。
- オンライン等の活用も図り、実際の体験活動も実施し、小中一貫教育を充実させる。
- オンラインと対面についての研究や検討を進め、効果的な方法を模索したい。
- 各校の学校評価について共有し、今年度の成果と課題を確認して、次年度につなぐ。

確かな学力と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進 『Mプラン(令和6年度)』

～生きる力を育成する確かな連携～



プラン



小・中学校で一貫してめざす児童生徒の学習や生活の姿

学校種	めざす授業での姿		めざす生活での姿	
	自 主	敬 畏	自 主	敬 畏
前 原 中	・自分の考えを自分の言葉で発表します	・友達の考えを尊重しともに学び合います	・挨拶は目と声で心を伝えます	・感謝の気持ちをもって行動します
	・分からないことを分からないままにしません	・学習の場を大切にします	・自分の役割を考え進んで行動します	・仲間を大切にし、いじめは絶対にしません
百 間 学 校	金力技球	心配り	金力技球	心配り
	・自分の言葉で発表します	・友達の考えをよく聞き学び合います	・笑顔で挨拶します	・「ありがとう」の気持ちをもっと行動します
	・分からないことは人に聞いたり調べたりします	・勉強の場は使いやすいよう整理整頓します	・自分の役割を考え行動します	・友達を大切にし、いやなことはしません
	・進んで意見や考えを発表します	・友達の考えを大切にします	・相手より先に挨拶します	・常に「ありがとう」の気持ちをもちます
中 学 年	・分からないことは調べます	・勉強の場は整理整頓します	・自分の役割を大切にします	・友達を思いやって行動します
	・意見を発表します	・友達の意見をよく聞きます	・元気に大きな声で挨拶します	・「ありがとう」と言えます
低 学 年	・分からないことが人に関心を持ちます	・勉強の場はきれいにします	・与えられた役割をします	・友達と仲良くします

主 な 取 組

学力の向上

- ・校内授業研究会の相互授業参観
- ・出前授業の実施
- ・英語・外国語活動合同発表会の実施
- ・教職員合同研修会での協議（合同教科部会）
- ・小中連絡会の実施
- ・他

豊かな心の育成

- ・キャリアパスポートの取組
- ・挨拶運動の合同実施
- ・校長交換講話
- ・児童生徒の交流
- ・めざす児童生徒の学習や生活の姿を掲示
- ・教職員合同研修会での協議（児童・生徒の情報共有）
- ・陸上合同練習
- ・中学校合唱祭の見学
- ・Mプランの掲示
- ・中学生職場体験学習
- ・他

令和6年度 前原中学校区 小・中学校一貫教育推進計画

1 ねらい

- (1) 中学校進学に対する不安感を軽減するとともに、暴力行為や不登校、いじめを解消し、夢や憧れをもって日々努力する子を育てる。
- (2) 教職員が義務教育9年間の教育活動を理解したうえで、全体の教育活動において自分の果たすべき役割を認識し、授業改善の促進と学力の向上を図り、確かな学力を身につけ、主体的に学ぶ子を育てる。
- (3) 自分自身、学校、地域に誇りを持ち、より良い生活を追及する心豊かな子を育てる

2 本年度の重点

- ◎心豊かな児童生徒 ⇒ (1) 学校・地域で気持ち良く挨拶のできる児童生徒
 (2) 人の話を、目を見てしっかり聞ける児童生徒
- ◎確かな学力の育成 ⇒ (3) 家庭学習に進んで取り組む児童生徒
- ◎(1)～(3)を目指し⇒ (4) 研修を通しての教職員の資質向上

3 本年度の計画

実施時期	実施場所	参加対象者	内 容	ね ら い
4月下旬 →4/22	百間小	百間小・前原中 校長・教頭 教務	・令和6年度の計画について	努力する児童生徒、 学力向上、豊かな心 教職員の資質向上
5月上旬 →5/8	百間小	前原中陸上部の生徒	・前原中陸上部が町内陸上大会に向けての練習会に参加し、小学生を指導	豊かな心
5月中旬 →5/17	前原中	百間小旧6年担任 前原中1年担任	・前原中学校1年生の授業を参観後、研究協議及び情報交換	努力する児童生徒、 確かな学力、豊かな心
5月下旬 →5/21～22	百間小	前原中2年	・中学生職場体験学習	豊かな心
6月上・中旬 →6/5～21	百間小 前原中	百間小教職員 前原中教職員	・小・中相互授業参観	教職員の資質向上 学力向上、豊かな心
6月上旬 →6/5	百間小	前原中生徒会他	・挨拶運動	豊かな心
7月 →7/	前原中	百間小特支学級 前原中特支学級	・特別支援学級の交流会	努力する児童生徒、 豊かな心
夏季休業中 →8/27	百間小	前原中英語科教員	・英語活動研修会への参加	確かな学力、 教職員の資質向上
夏季休業中 →7/31	前原中	百間小教職員 前原中教職員	・小・中合同研修会(教科・領域、子供の情報交換等) 会場：前原中	教職員の資質向上 学力向上、豊かな心
10月上旬 →10/4	前原中	百間小児童・保護者	・前原中体育祭の案内	努力する児童生徒、 豊かな心
10月上旬 →10/5	百間小	前原中生徒・保護者	・百間小の運動会への前原中生徒・保護者の参観	豊かな心 中1ギャップの解消
10月中旬 →10/15	各小中学校	百間小学校長、前原中学校長	・校長交換講話	努力する児童生徒、 確かな学力、豊かな心

10月下旬 10/26(百小) 10/29(前中)	百間小 前原中	百間小児童・保護者 前原中生徒・保護者	・教育週間でのそれぞれの学校の授業公開と百間小音楽祭、前原中音楽祭への参観	努力する児童生徒、豊かな心
11月 →11/	前原中	百間小特支学級 前原中特支学級	・特別支援学級の交流会	努力する児童生徒、豊かな心
11月 →11/9	前原中	前原中生徒・保護者 百間小児童・保護者	・前原中学校のPTAバザーの児童・生徒・保護者への案内・参加	豊かな心
12月上旬 →12/4	百間小 前原中	百間小5, 6年、 前原中2年	・英語・外国語活動発表会 →オンライン	中1ギャップの解消 確かな学力、豊かな心
2月上旬 →2/3	前原中	百間小6年児童・保護者	・新入生入学説明会	努力する児童生徒
2月中旬～ →2/13	百間小	百小6年、前中3年 担当、教頭・養教	・小学校6年生の授業参観 ・小学校6年生へ出前授業	努力する児童生徒 中1ギャップの解消
2月下旬 →2/21	百間小	百間小・前原中 校長・教頭 教務	・令和6年度のまとめと令和7年度の取組について	努力する児童生徒、 学力向上、豊かな心 教職員の資質向上
2月下旬 →2/	前原中	百間小特支学級 前原中特支学級	・特別支援学級の交流会	努力する児童生徒、 豊かな心
3月中旬 →3/	百間小	百間小特支担当 前中特支担当・教頭	・特別支援学級の授業参観と情報交換	努力する児童生徒
3月下旬 →3/25	百間小	百小6年、前中3年 担当、教頭・養教	・小学校6年生の情報交換	努力する児童生徒

4 その他

- ・「小・中9年間で育てたい姿」を教職員で再度十分話し合い、取組を吟味する。
- ・交流の様子

